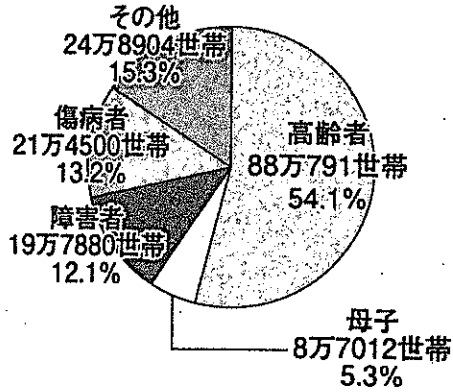


生活保護163.8万世帯

生活保護利用世帯の内訳
(2018年7月)



前月から1418世帯増

厚生労働省は3日、7月に生活保護を利用した世帯が前月より1418世帯多い163万7745世帯だったと発表しました。65歳以上の「高齢者」と「障害者」の世帯が増えて

いることが要因です。7月の一時的な保護停止を除く利用世帯の内訳をみると、「高齢者」世帯が88万7912世帯で、利用世帯全体の54.1%を占めました(グラフ)。「高齢者」世帯の91%が1人暮らしでした。

高齢者以外では、「母子」が8万7012世帯、「障害者」が19万7880世帯、「傷病者」が21万4500世帯、失業者を含む「その他」が24万8904世帯でした。前年同月と比べ、利用世帯は全体では3342世帯減少していますが、「高齢者」では1万7741世帯、「障害者」では4500世帯それぞれ増えています。

扶助別に利用者数をみると、「生活扶助」は4月から減少が続いていましたが、7月は前月比1679人増の183万8952人でした。「高齢者」世帯の増加を反映して「介護扶助」が前月比1985人増の37万8663人でした。